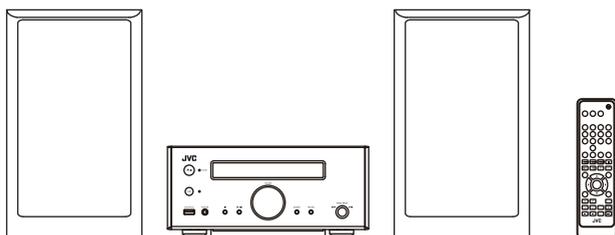


コンパクトコンポーネントシステム

EX-N70/EX-N50

DΞUS



※イラストはEX-N70を使用しています。



*AAC/MP3/WMA
FLAC/WAV*



・ もくじは3 ページにあります。

お買い上げありがとうございます

ご使用前に

この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

特に別紙の「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき安全にお使いください。

そのあと本書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。



ユーザー登録
のすすめ

お買い上げいただきました製品について「ユーザー登録」をお願いいたします。ご登録いただきますと製品のサポート情報、製品情報やイベント情報の提供サービスなどをご利用いただけます。また、今後のよりよい製品開発のためのアンケートにもご協力をお願いいたします。

●下記アドレスのホームページより、ご登録ください。

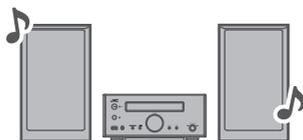
<http://www3.jvckenwood.com/reg/>

はじめに

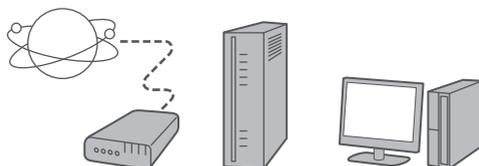
各機器の音声を楽しむには

音声を楽しむために準備しましょう

スピーカーと接続しましょう (p. 8)



通信ネットワークを構築して音楽やラジオを聞きたい方は、ネットワークに接続しましょう (p. 23)



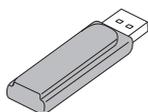
- ネットワーク上の機器(パソコンなど)に入っている音楽ファイルや radiko.jp を本機から聞くことができます。

各機器の音声を聞きましょう

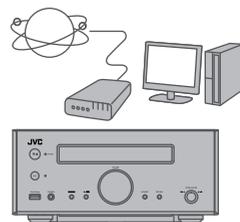
iPod/iPhone (p. 14)



USB メモリー (p. 18)



ネットワーク機器 (p. 23)



デジタルオーディオ
プレーヤー (p. 40)



テレビ (p. 40)



もくじ

| | | | |
|-------------------------------|-----------|-----------------------------------|-----------|
| はじめに | 2 | radiko.jp を聞く | 34 |
| 各機器の音声を楽しむには | 2 | ネットワーク設定を変更する | 36 |
| 本機を設置するときは | 5 | 文字を入力する | 38 |
| 準備する | 6 | Wi-Fi Remote Control アプリを使う | 39 |
| 付属品を確認する | 6 | 外部機器を聞く | 40 |
| リモコンを準備する | 6 | 外部機器を接続する | 40 |
| 接続する | 8 | 再生する | 41 |
| スピーカーを接続する | 8 | 音質を設定する | 42 |
| 他の機器(市販品)を接続する | 9 | 再生音質を高める(K2 機能) | 42 |
| 各部のなまえ | 10 | 好みの音質に設定する | 42 |
| 本体前面 | 10 | 重低音を強める(AHB) | 43 |
| 表示部 | 11 | 音質設定をリセットする | 43 |
| リモコン | 12 | スピーカーの左右の音量バランスを調整する | 43 |
| ふだんの使いかた | 13 | タイマーを使う | 44 |
| 電源を入れる / 切る | 13 | スリープタイマーを設定する | 44 |
| 音源を選んで聞く | 13 | その他の設定 | 45 |
| 一時的に消音する | 13 | 表示される情報を変える | 45 |
| iPod/ iPhone を聞く | 14 | 表示の明るさを変える | 45 |
| iPod/ iPhone を接続する | 14 | オートパワーセーブ(節電機能)をオフに設定する | 46 |
| 再生する | 15 | その他 | 48 |
| iPod/ iPhone のメニューを操作する | 16 | 再生できる iPod | 48 |
| USB 機器を聞く | 18 | USB 機器のご注意 | 48 |
| USB 機器を接続する | 18 | オーディオファイルのご注意 | 49 |
| 再生する | 19 | ネットワーク(LAN)について | 50 |
| チャージモードで機器を充電する | 22 | サーバーについて | 50 |
| ネットワーク機器を使う | 23 | DLNA 機器について | 50 |
| ネットワーク機器を接続する | 23 | 商標 | 51 |
| ネットワークサーバー内の音楽ファイルを再生する | 24 | 故障かな?と思ったら | 52 |
| リモート再生する | 26 | 主な仕様 | 55 |
| 共有フォルダ内の曲を再生する | 28 | 保証とアフターサービス | 59 |
| ファイルを操作する | 32 | | |

はじめに

オートパワーセーブ(節電機能)について

- ・本機には、消音状態などが15分間続くと自動で電源が切れる「オートパワーセーブ」があり、お買い上げ時には有効になっています。(p. 46)

本書の見かた

- ・この取扱説明書では、EX-N70 を例に説明しています。
- ・本書では、主にリモコンのボタンを使って説明しています。本体にも同じマークのボタンがある場合には、本体のボタンもお使いいただけます。
- ・この取扱説明書のディスプレイ表示は実際のディスプレイ表示とは異なる場合があります。

本書の表記について

- ・本書の説明で「iPod」と表記しているときは、iPod、iPod touch、iPhone を含みます。iPod touch、iPhone を指すときは、「iPod touch」、「iPhone」と表記します。
- ・本書の説明で「Android 端末」と表記しているときは、Android OS を搭載したスマートフォンやタブレット端末などを含みます。
- ・本書ではオーディオファイルの説明をする場合、「ファイル」と「曲」は同じ意味で使っています。

本機のボタンの押し方について

本機のボタンの押し方には、ボタンを短めに押す「単押し」と、長めに押す「長押し」があります。

単押し:(長押し)の記載なし

ボタンを軽く短めに「ポン」と押して、早めに指を離してください。強く押し過ぎたり、ゆっくり押すと本機が反応しない場合があります。そのような場合は、押し時間や力を調整して数回試してみてください。



長押し:(長押し)の記載あり



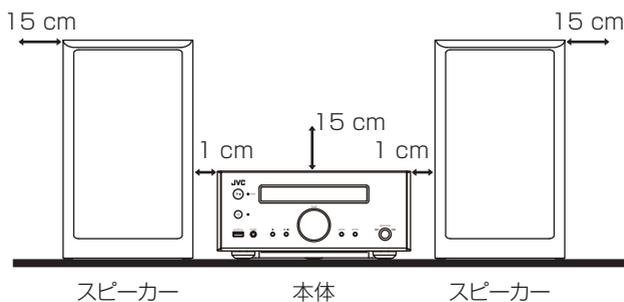
ボタンを長めに押し続けてから、指を離してください。

本機を設置するときは

本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。特に次のことに注意してください。

- あお向けや横倒し、逆さまにしない
- 本箱、押し入れなど風通しの悪い狭い所に押し込まない
- テーブルクロス、新聞、カーテン、毛布などで通風孔をふさがない
- 本や雑誌などをのせない
- じゅうたんや布団の上に置かない
- 機器の各面から、図に示すスペースを空けてください。

正面



側面



ご注意

- 本機の使用環境温度は、5℃～35℃です。この範囲外の温度で使用すると、正しく動作しなかったり故障の原因となることがあります。

準備する

付属品を確認する

お使いになる前にお確かめください。

リモコン(1個)
RM-SEEXN70



リモコン用乾電池(単4形:2本)



スピーカーコード
(1.5m、2本)

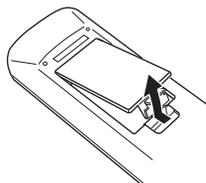


リモコンを準備する

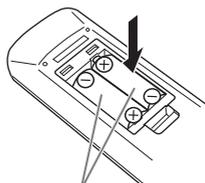
電池を入れる

電池の+と-の向きを正しく入れてください。

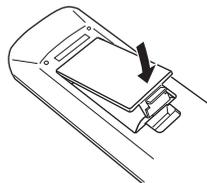
1



2



3

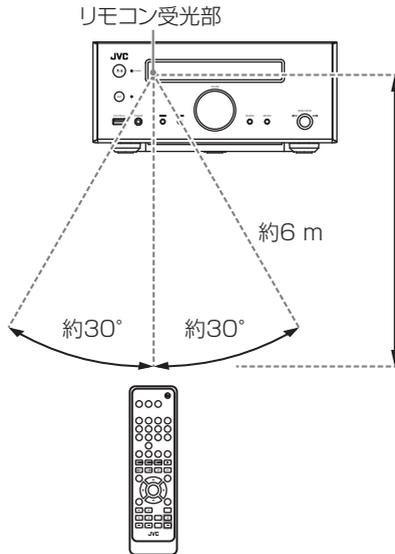


単4形乾電池(付属品)

ご注意

- 付属の電池は動作確認用です。早めに新しい電池と交換してください。
- 乾電池は、「安全上のご注意」(別紙)をお読みの上、正しくお取り扱いください。
- 使用済みの電池は、絶縁テープなどを貼って絶縁し、所在自治体の指示に従って廃棄してください。
- 落としたりぶつけたりなど、リモコンに強い衝撃を与えないでください。

操作のしかた



- リモコン受光部に向けてリモコンを操作してください。
- リモコンと本体の距離が近すぎると操作できません。
- 本体のリモコン受光部に、直射日光などの強い光が当たると、正しく動作しないことがあります。誤動作を避けるために、設置場所を変えてください。

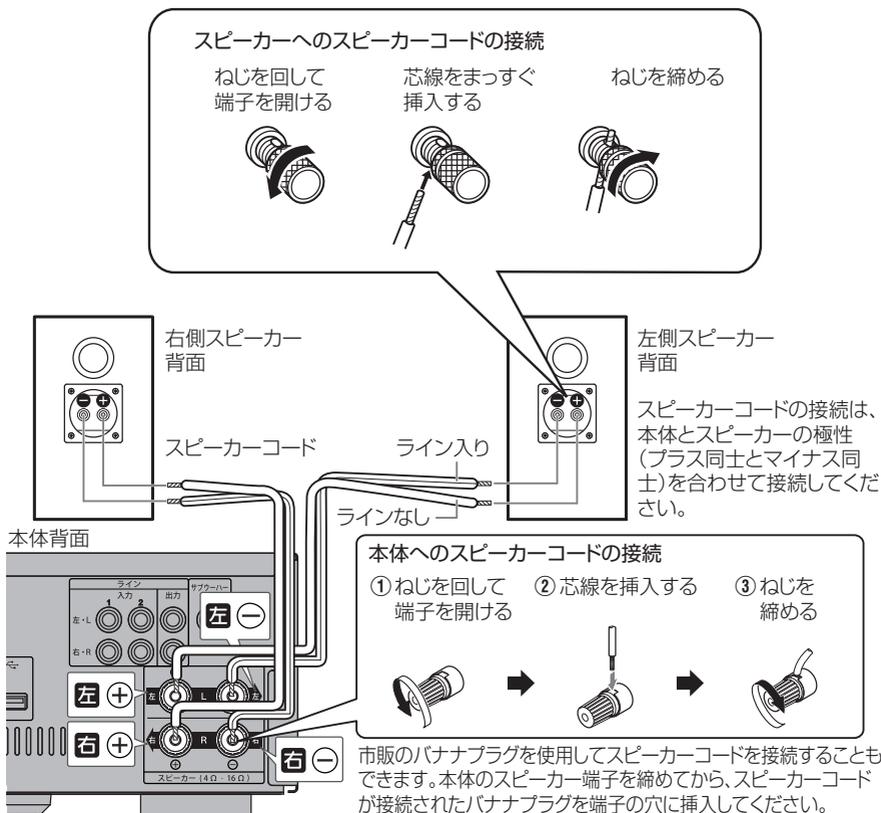
接続する

ご注意

- すべての接続が終わってから、電源プラグをコンセントに差し込んでください。
- 接続したコード、ケーブル類を抜くときは、事前に必ず本体の電源をオフにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。

スピーカーを接続する

- イラストは接続の一例です。イラスト以外のスピーカー端子やスピーカーコードでも接続できます。

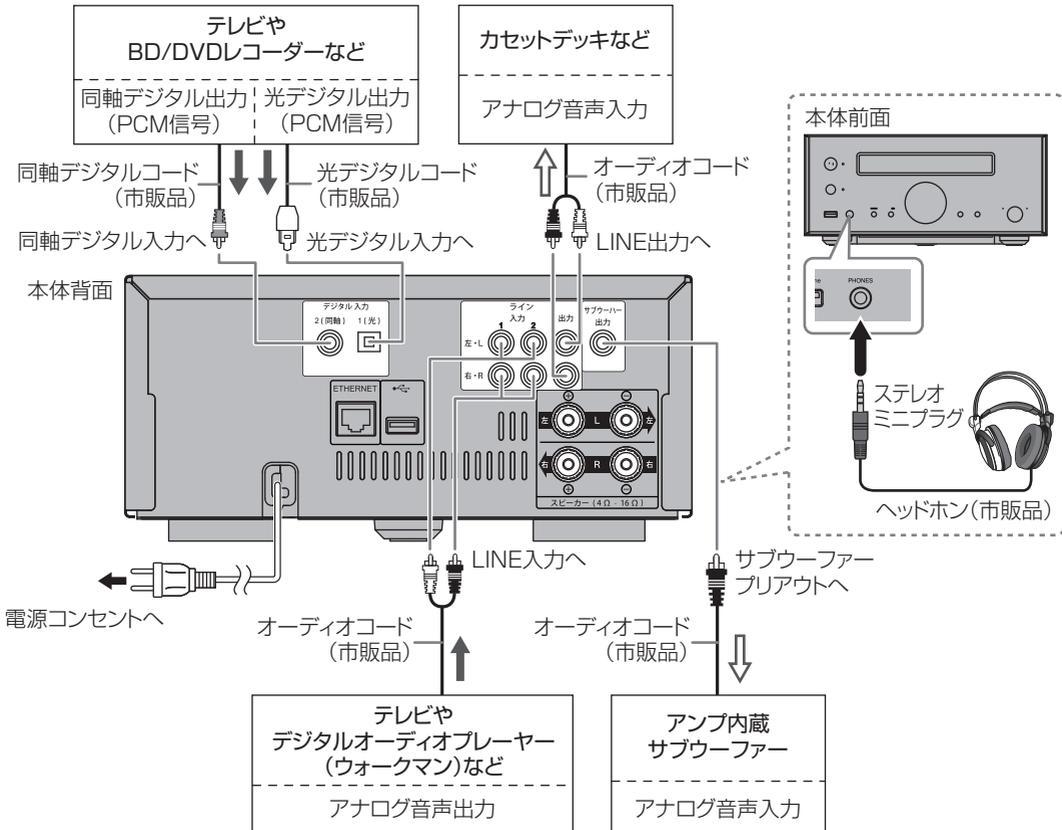


スピーカーの接続についてのご注意

- 1つの端子に2つ以上のスピーカーを接続しないでください。
- スピーカーコードを強く押し込みすぎて、ビニールの被覆を端子の中に入れてないようにしてください。
- スピーカーコードの接続を間違えると、故障の原因となりますので、図のとおり正しく接続してください。

他の機器(市販品)を接続する

接続コードは確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合は、音が出なくなったり、雑音が発生することがあります。



お知らせ

- お使いの外部機器の取扱説明書をご覧ください。
- デジタル入力端子に接続した場合は、テレビやBDレコーダーなどの接続機器側のデジタル音声出力設定を「PCM」にしてください。

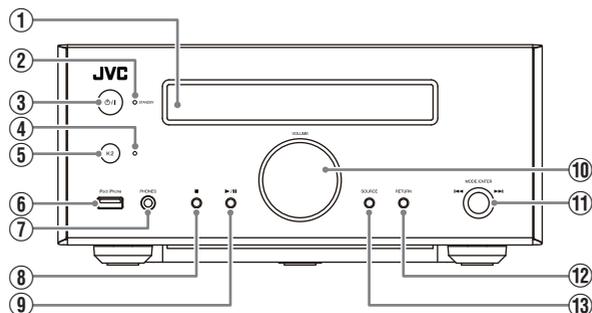
電源コードについてのご注意

- 出かけるときや長期間使用しないときは、電源コードをコンセントから抜いてください。

各部のなまえ

本体前面

- 参照ページは主な紹介ページを記載しています。



① リモコン受光部

(p. 7)

② STANDBY インジケータ

本機の電源が切れているときは赤色に点灯します。電源が入っているときは消灯します。

本機がネットワークスタンバイに設定されているとき (Net Standby 設定が Enable のとき) はオレンジ色に点灯します。

③ 電源

(p. 13)

④ K2 インジケータ

(p. 42)

⑤ K2

(p. 42)

⑥ USB 端子 (iPod/iPhone)

(p. 14, 18)

⑦ PHONES 端子

ヘッドホンを接続します。

- ヘッドホンを接続すると、スピーカーから音が出なくなります。

⑧ (停止)

⑨ (再生/一時停止)

⑩ VOLUME

(p. 13)

⑪ MODE/ENTER



(p. 15, 19, 20, 32, 46)

⑫ RETURN

(p. 16, 21, 36)

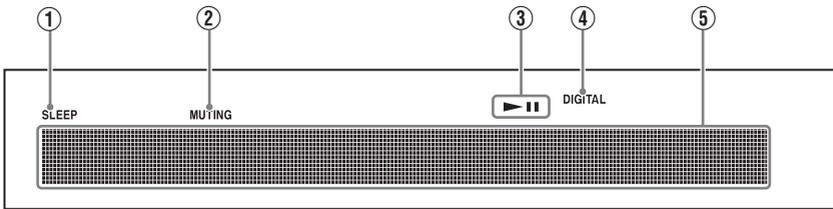
⑬ SOURCE

(p. 13, 15, 19, 25, 41)

お知らせ

- 電源が切れているとき(スタンバイ状態)にも、少量の電力を消費します。

表示部



① SLEEP アイコン

(p. 44)

② MUTING アイコン

(p. 13)

③ 再生状態アイコン

▶(再生)アイコン

|| (一時停止)アイコン

④ DIGITAL アイコン

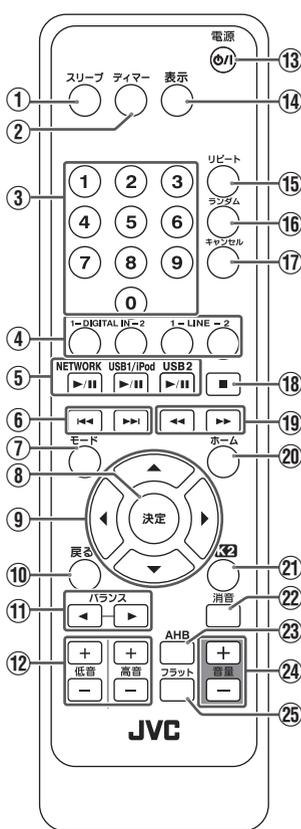
音源が「DIGITAL IN」で、デジタル信号が入力されている時に点灯します。デジタル信号が入力されていない時は点滅します。

⑤ テキスト表示

各ソース(音源)の情報を表示します。

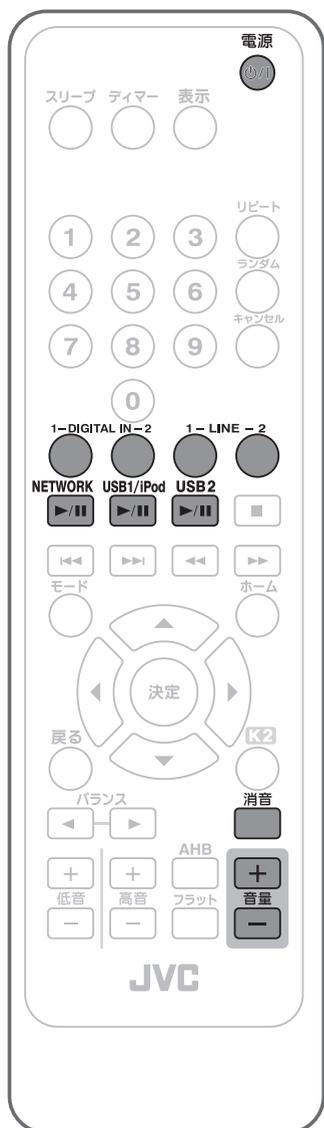
各部のなまえ

リモコン



- ① スリープ
(p. 44)
- ② タイマー
(p. 45)
- ③ 表示
(p. 38, 45)
- ④ 数字ボタン
(p. 37)
- ⑤ 外部入力切換
(p. 41)
- ⑥ 音源切換、▶/■
(p. 13, 15, 19, 25)
- ⑦ ◀▶▶▶
(p. 15, 19, 20, 32)
- ⑧ モード
(p. 36, 46)
- ⑨ 決定
(p. 16, 25, 31, 46)
- ⑩ ◀ ▶ ▲ ▼
(p. 16, 25, 36, 46)
- ⑪ 戻る
(p. 16, 21, 36)
- ⑫ バランス ◀▶
(p. 43)
- ⑬ 低音 + - / 高音 + -
(p. 42)
- ⑭ 電源
(p. 13)
- ⑮ リpeat
(p. 15, 21, 33)
- ⑯ ランダム
(p. 15, 20, 33)
- ⑰ キャンセル
(p. 38)
- ⑱ ■
(p. 19, 32)
- ⑲ ◀▶▶▶
(p. 15, 19, 32)
- ⑳ ホーム
(p. 25, 30)
- ㉑ K2
(p. 42)
- ㉒ 消音
(p. 13)
- ㉓ AHB
(p. 43)
- ㉔ 音量 + -
(p. 13)
- ㉕ フラット
(p. 43)

ふだんの使いかた



電源を入れる / 切る

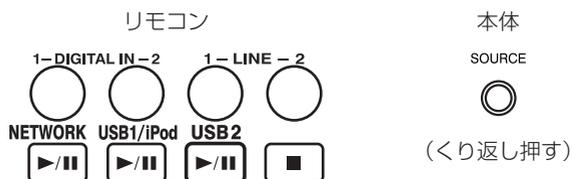
電源



- リモコンの[NETWORK ▶/||]などの各音源ボタンを押して電源を入れることもできます。

音源を選んで聞く

1 音源を選ぶ



2 音量を調節する

リモコン

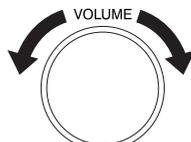


(くり返し押す)

- 調節範囲: 0 ~ 50 (Max)

- 押しつづけると、連続して変わります。

本体



(回す)

一時的に消音する

消音



- もう1度押すか、音量を調節すると、消音が解除されます。

iPod/ iPhone を聞く



iPod/ iPhone を接続する

iPod を本機前面の USB 端子に接続して、本機から操作して再生できます。



ご注意

- iPod/iPhone は、本機背面の USB 端子に接続して操作することはできません。本機前面の USB 端子に接続して操作してください。
- iPod は、電源が切れた状態で取りはずしてください。再生中に取りはずすと、ファイルや iPod のファイルシステムが破損する恐れがあります。
- 本機から iPod に録音することはできません。

お知らせ

- iPod は以下のときに充電されます。
 - 音源にかかわらず本機の電源が入っているとき。本機前面の USB 端子に接続すると充電されます。
 - 本機のチャージモード(p. 22)をオンに設定し、電源が切れているとき(スタンバイ状態のとき)。本機前面の USB 端子に接続すると充電されます。
 - iPod/iPhone の充電電池またはバッテリーが完全に消耗している場合、充電機能が動かないことがあります。その場合は、一度本機の電源を入れなおしてください。
 - iPod/iPhone が充電されない場合、本機の電源を入れて音源を「USB1 (iPod)」(本機前面の USB 端子用)に切り換え、iPod/iPhone を再生できる状態になってから電源を切ってください。
 - 以下の iPod/iPhone は、本機の電源が切れているとき(スタンバイ状態のとき)に接続しても充電できません。(p. 53) iPod nano (第 2 世代)、iPod touch (第 1 世代/第 2 世代/第 3 世代/第 4 世代)、iPhone 3GS、iPhone 3G、iPhone 4
 - 「Net Standby」(p. 37)を「Enable」にした場合、本機の電源が切れているとき(スタンバイ状態のとき)に本機前面の USB 端子に接続すると、「Charging」は表示されません。接続機器 (iPod/iPhone など)の充電表示をご確認ください。

iPod の操作には、Standard Mode(通常モード)と Extended Mode(エクステンドモード)があります(p. 17)。以下の操作は Standard Mode(通常モード)で操作してください。

再生する

再生する

リモコン

本体



- 本体側で操作するときは、iPod の認識が終わった後、[▶/||]を押してください。iPod の再生が始まります。

お知らせ

音量の調整方法については p. 13 をご覧ください。

一時停止する

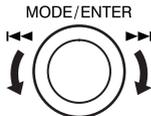


- もう 1 度押すと、一時停止を解除します。

曲を選ぶ

リモコン

本体



(くり返し押す)

(回す)

- 次の曲に移動するには、[▶]を押します。
- 再生している曲の最初に移動するには、[◀]を押します。続けて 2 回押すと、前の曲に移動します。

早戻し/早送りする

再生中に



(押し続ける)

- 早戻しするには、[◀◀]を押し続けます。
- 早送りするには、[▶▶]を押し続けます。

シャッフル再生をする

ランダム



- 押すたびに iPod のシャッフル再生モードが切り換わります。

リピート再生をする

リピート



- 押すたびに iPod のリピート再生モードが切り換わります。



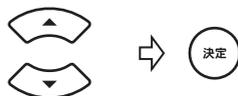


iPod/ iPhone のメニューを操作する

1 メニューを表示する



2 項目を選ぶ



(くり返し押す)

前のメニューに戻る

- [戻る]を押す。

お知らせ

- iPod/iPhone が iOS7.0 以降の場合、本機側で下記のメニュー操作ができません。iPod/iPhone 側でメニュー操作を行なってください。
- iPod の種類により、動作が異なることがあります。
- iPod のイコライザーを使用していると、録音レベルが高い音を再生したときに音がひずむことがありますので、使用しないことをおすすめします。
- 一部の iPod では、メニュー画面の操作を行うときは、iPod で操作してください。
- iPhone または iPod touch の接続中に次の操作を行うときは、iPhone や iPod touch で操作します。
 - ホームボタンを押す
 - ホーム画面でアプリケーションアイコンを選ぶ
 - スライダーをドラッグする
- iPod の操作については、iPod の取扱説明書をご覧ください。

本機の表示部を見ながら操作する (Extended Mode: エクステンドモード)

Extended Mode(エクステンドモード)にすると、本機にコンテンツ情報が表示され、表示部を見ながら操作できます。表示されるコンテンツ情報は以下のとおりです。

トップメニューのリスト:
プレイリスト(Playlists)、アーティスト(Artists)、アルバム(Albums)、ジャンル(Genres)、曲(Songs)、作曲者(Composers)、シャッフル(Shuffle Songs)、再生中(Now Playing)

- 操作方法は以下のとおりです。

1 メニューを表示する



2 リストを選ぶ



お知らせ

- Standard Mode(通常モード)と Extended Mode(エクステンドモード)は切り換えることができます。

Standard Mode(通常モード)と Extended Mode(エクステンドモード)を切り換える



(押し続ける)

- 押し続けるたびに切り換わります。
- Standard Mode(通常モード)では、本機表示部にコンテンツ情報は表示されませんが、iPod/iPhone 本体および本機リモコンで操作できます。
- iPod/iPhone を取りはずしても設定は記憶されます。

Extended Mode(エクステンドモード)操作時のアイコン表示

Extended Mode(エクステンドモード)では[リピート]または[ランダム]を押すごとに、再生モードとアイコン表示が以下のように切り換わります。

-  1 曲リピート
-  全曲リピート
-  シャッフル
-  シャッフルリピート
-  アルバムシャッフル
-  シャッフル+1 曲リピート
-  アルバムシャッフル+1 曲リピート
-  アルバムシャッフル+全曲リピート

お知らせ

- iPod/iPhone 側で「リピート」や「ランダム」の操作を行なった場合、本機の表示部には iPod/iPhone 側の再生モードの表示アイコンが反映されません。(リピートやランダムの状況は iPod/iPhone 側の表示をご確認ください。) 本機の表示部にアイコンを表示させるには、本機リモコンの[リピート]や[ランダム]ボタンを押して再生モードを選んでください。

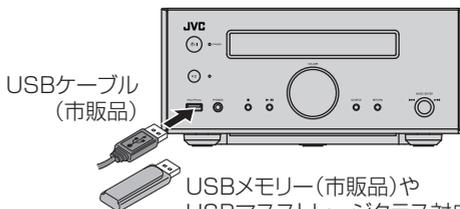


USB 機器を聞く

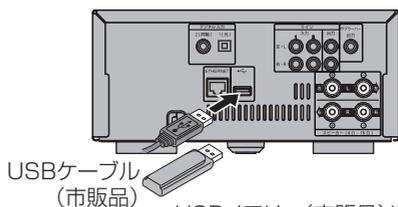


USB 機器を接続する

本機前面に接続する



本機背面に接続する



ご注意

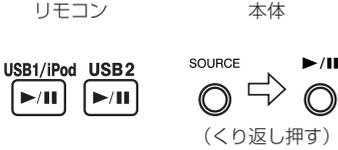
- USB 機器は、停止状態で取りはずしてください。再生中に取りはずすと、ファイルや USB 機器のファイルシステムが破損する恐れがあります。
- Android 端末には対応していません。本機の USB 端子に接続しないでください。
- ソニー製ウォークマンは、USB 接続できません。ライン入力端子に接続してください。(p. 40)

お知らせ

- USB 機器は以下のときに充電されます。
 - 本機のチャージモード(p. 22)をオンに設定し、電源が切れているとき(スタンバイ状態のとき)。この場合、本機前面の USB 端子に接続したときのみ充電されます。
 - 音源にかかわらず本機の電源が入っているとき。本機前面または本機背面の USB 端子に接続すると充電されます。

再生する

再生する



- 本機前面に接続した USB 機器を再生するときには、[USB1/iPod ▶/||]を押してください。
- 本機背面に接続した USB 機器を再生するときには、[USB2 ▶/||]を押してください。
- 本体側で操作するときには、USB 機器の認識が終わった後、[▶/||]を押してください。

お知らせ

- USB 機器のプログラム再生機能はありません。
- 本機から USB 機器に録音することはできません。

音量の調整方法については p. 13 をご覧ください。

停止する

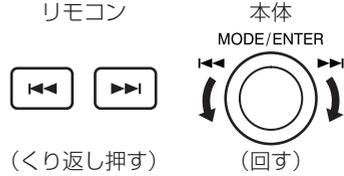


一時停止する



- もう 1 度押しすと、一時停止を解除します。

曲を選ぶ

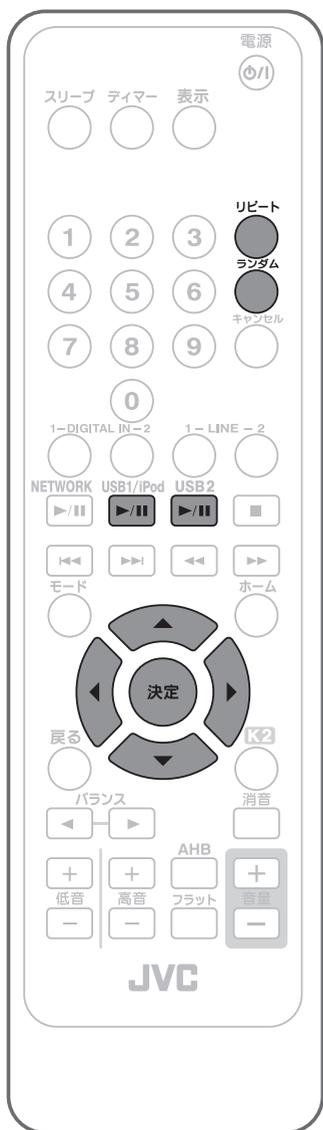


- 次の曲に移動するには、[▶▶]を押します。
- 再生している曲の最初に移動するには、[◀◀]を押します。続けて 2 回押しすと、前の曲に移動します。

早戻し／早送りする

再生中または一時停止中に





ランダム再生をする

1 ランダムを設定する 停止中に



- 「」(ランダム)アイコンが点灯します。

2 再生する



- ランダム再生中に[]を押しても、前の曲に戻ることはできません。
- 停止中に[ランダム]をもう1度押すと、ランダム再生が解除され、「」(ランダム)アイコンが消灯します。

リピート再生をする

1 リピートの種類を選ぶ

再生中または停止中に



- 押すたびに以下のように切り換わります。
- 「」(リピート)アイコン:
すべての曲をくり返します。
- 「」(リピート 1)アイコン:
現在の曲をくり返します。
- 「」(フォルダリピート)アイコン:
現在のフォルダの曲をくり返します。

2 再生する



フォルダとファイルを選択して再生する

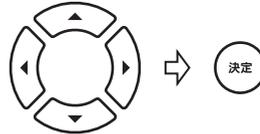
1 フォルダまたはファイルを選ぶ



(くり返し押す)

- [決定]または[戻る]を押して階層を移動し、[▲][▼][◀][▶]を押してフォルダまたはファイルを選びます。
- [戻る]を押すと、1つ前の階層に戻ります。
- フォルダを選んだときに[決定]を押すと、1つ下の階層に進みます。

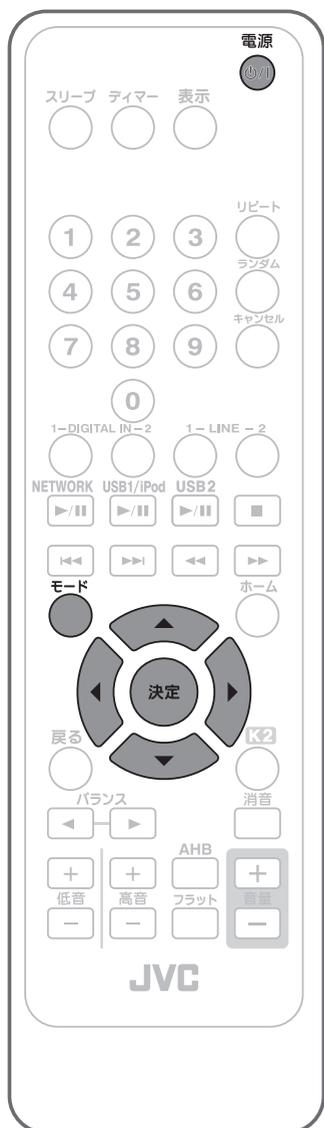
2 ファイルを選んで再生する



(くり返し押す)

- 再生中は[◀][▶]を押して前後のファイルを選びます。
- USB 機器によっては、フォルダを選べないことがあります。



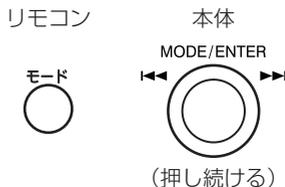


チャージモードで機器を充電する

本機の電源が切れているとき(スタンバイ状態のとき)に iPod や USB 機器への充電をするかしないかを設定します。設定は本機の電源が入っている状態で行なってください。

- チャージモードは、本機前面の USB 端子でのみ使用できます。

1 設定メニューを表示する



2 「Charge Mode」を選ぶ



3 「On」または「Off」を選ぶ



- 「On」(初期設定): iPod または USB 機器を接続すると充電を開始します。
- 「Off」: iPod または USB 機器を接続しても充電されません。

4 電源を切る(スタンバイ状態にする)

5 iPod または USB 機器を接続する

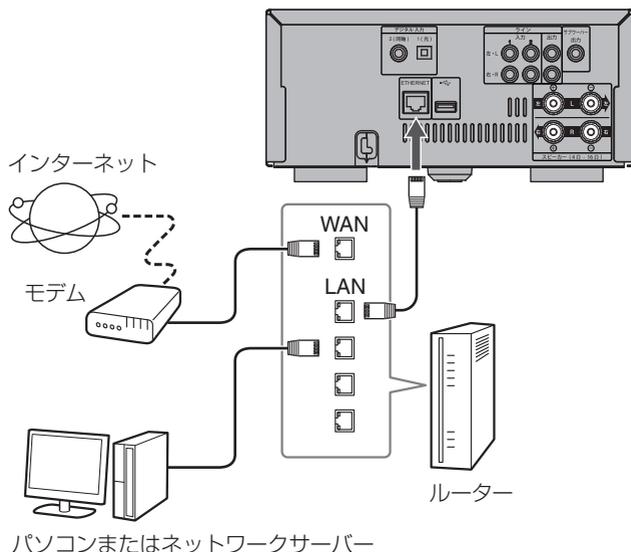
表示部に「Charging」と表示され、充電が開始されます。

- チャージモードをオンに設定している場合、電源が切れているとき(スタンバイ状態)の消費電力が増加します。
- 「ReadyCharging」と表示されたときは、少しお待ちください。待機後「Charging」と表示され自動的にチャージモードになります。「ReadyCharging」表示中に iPod や USB 機器を取りはずすとスタンバイ状態になりません。再度スタンバイ状態にするには、電源ボタンを 2 回押ししてください。

ネットワーク機器を使う

ネットワーク機器を接続する

ネットワーク機器を以下のように接続して、ネットワーク(LAN)を構築します。



- 電気通信端末機器認定品の市販ルーター等を用いて LAN 接続してください。
- ネットワーク機器やインターネットへの接続には、個々の機器の設定が必要になります。これらの設定については、各機器の取扱説明書やメーカー、インターネットサービスプロバイダ(ISP)にご確認ください。

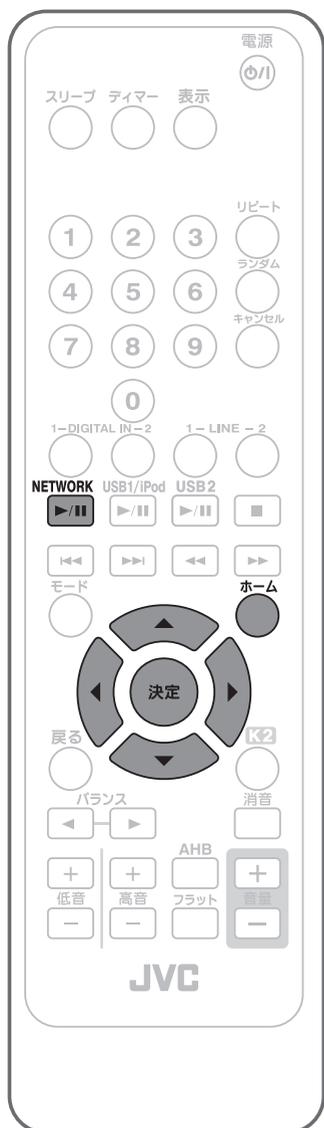
操作説明冒頭のアイコンについて

 アイコン : パソコン側での操作を表しています。

 アイコン : 主に本機側での操作を表しています。



ネットワーク機器を使う



ネットワークサーバー内の音楽ファイルを再生する

ネットワークサーバー内の音楽ファイルを、本機を操作して本機から再生できます。

はじめに再生したいサーバーの設定を行います。

- 対応サーバーについては p. 50 をご覧ください。

ネットワークサーバーを設定する

再生したい音楽ファイルが入っているネットワークサーバーを設定します。

ここでは、Windows Media® Player 11 を例として説明します。

- 1 パソコンの電源を入れ、Windows Media Player 11 を開く
- 2 「ライブラリ」メニューをクリックし、「メディアの共有」をクリックする
ダイアログボックスが開きます。
- 3 「メディアを共有する」チェックボックスにチェックを入れ、「OK」をクリックする
対応機器が表示されます。
- 4 本機を選んで、「許可」をクリックする
本機のアイコンがチェックの付いたものになります。
- 5 「OK」をクリックして、ダイアログボックスを閉じる
以上で設定は完了です。

ご注意

- メディアサーバーの種類によっては、本機で認識できなかったり、サーバーに保存された音楽ファイルを再生できない場合があります。



音楽ファイルを再生する

1 音源を「NETWORK」にする

リモコン

本体



SOURCE



(くり返し押す)

2 パソコンまたはネットワークサーバーを起動する

3 ネットワークサービスメニューを表示する

ホーム



4 「DLNA」を選ぶ



(くり返し押す)

5 ネットワークサーバーを選ぶ

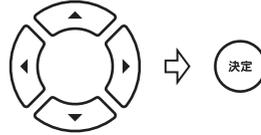
ネットワークサーバーの項目が表示されます。

6 フォルダを選ぶ



(くり返し押す)

7 再生したい音楽ファイルを選ぶ



(くり返し押す)

- [決定]の代わりに[NETWORK▶/||]を押しても再生が始まります。

ご注意

- 本機はネットワークサーバーにある写真や動画にアクセスすることはできません。
- サーバーから情報を取得できなかった場合、「No Item」と表示されます。サーバー、ネットワーク、接続を確認してください。
- ネットワークサーバーの共有設定によっては、内容を表示できない場合があります。ネットワークサーバーの取扱説明書をご覧ください。
- サーチ機能に対応していないネットワークサーバーでは、サーチ機能は働きません。

音量の調整方法については p. 13 をご覧ください。



ネットワーク機器を使う

ネットワーク機器を使う

リモート再生する

リモート再生とは、ネットワーク内の DLNA 準拠のコントローラー機器やパソコンを操作することにより、それぞれの機器に保存された音楽ファイルを本機から再生する機能です。

ネットワークサーバーやパソコンに保存された音楽ファイルを本機で再生するためには、はじめに Windows Media® Player 12 の設定を行います。

Windows Media Player 12 の設定をする

- 1 パソコンの電源を入れ、Windows Media Player12 を開く
- 2 「ストリーム(R)」をクリックして、「メディアストリーミングを有効にする」を選ぶ
ダイアログボックスが開きます。
 - メディアストリームがすでに有効になっている場合は、「その他のストリーミングオプション」をクリックすると、ネットワーク内の再生機器一覧が表示されますので手順 4 へ進んでください。
- 3 「メディアストリーミングを有効にする」をクリックする
ネットワーク内の再生機器一覧が表示されます。
- 4 「メディアストリーミング オプション」で本機を選び、「許可」になっていることを確認する
- 5 「OK」をクリックして、ダイアログボックスを閉じる
以上で設定は完了です。

お知らせ

- 「ストリーム(R)」をクリックして、「プレーヤーのリモート制御を許可」にチェックが入っていることも確認してください。

リモート再生する

- 1 本機の電源を入れる
- 2 音源を「NETWORK」にする

リモコン 本体



SOURCE



(くり返し押す)

- radiko など、ネットワーク上の音声を再生している場合には、リモコンの[ホーム]を押す、または[戻る]を数回押して一番上のメニューに移動します。メニューから、[▲][▼]を押して「DLNA」を選び、[決定]を押してください。

- 3 パソコンの電源を入れ、Windows Media Player12 を開く
- 4 Windows Media Player 12 で再生したい音楽ファイルを選び、右クリックする
右クリックメニューが表示されます。
 - 別のネットワークサーバー内の音楽ファイルをリモート再生するには、「その他のライブラリ」からネットワークサーバーを開き、再生したい音楽ファイルを選びます。



5 「リモート再生」または「Play To」から本機をクリックする

Windows Media Player 12 の「リモート再生」ウィンドウが開き、本機で再生が開始されます。リモート再生中の操作は、お使いの Windows 7 または Windows 8 の「リモート再生」ウィンドウで行います。

6 音量を調整する

「リモート再生」ウィンドウの音量バーを操作して、本機の音量を調整できます。標準の最大音量は「50」です。

- 「リモート再生」ウィンドウと本機の音量値は一致しない場合があります。
- 本機で変更した音量は、「リモート再生」ウィンドウには反映されません。
- 最大音量の設定は、Web Setup の「DMR の最大ボリューム」で変更できます。

ご注意

- 以下のいずれかの場合、本機はリモート再生できません。
 - radiko.jp などのネットワークサービスを使っている
 - USB 機器または iPod の音楽ファイルを再生している

ネットワーク機器を使う

共有フォルダ内の曲を再生する

本機と同じネットワークに接続されたパソコンまたはNAS (Network Attached Storage)の共有フォルダ内の曲を本機から再生します。はじめにWindows 7またはWindows 8の設定を行います。



Windows 7 の設定をする

① 共有オプションの設定をする

1 「コントロールパネル」を開き「ネットワークとインターネット」をクリックし、「ホームグループと共有に関するオプションの選択」を選ぶ

- メニューが表示されない場合、「表示方法」が「カテゴリ」になってるか確認してください。

2 「共有の詳細設定の変更」をクリックする

3 「ホームまたは社内」で以下のチェックボックスにチェックが入っているか確認する

「ネットワーク探索を有効にする」/「ファイルとプリンターの共有を有効にする」/「共有を有効にしてネットワークアクセスがあるフォルダ内のファイルを読み書きできるようにする」/「パスワード保護の共有を無効にする」

4 「変更の保存」をクリックし、右上の「X」をクリックして設定画面を閉じる

② 共有フォルダの作成をする

1 共有したいフォルダを選び、右クリックする

2 「プロパティ」をクリックする

3 「共有」タブをクリックし、「詳細な共有」ボタンをクリックする

4 「このフォルダを共有する」にチェックを入れ、「OK」をクリックする

5 「ネットワークのファイルとフォルダの共有」から「共有」ボタンをクリックする

6 フルダウンメニューから「Everyone」を選び、「追加」「共有」の順にクリックする
以上で設定は完了です。

お知らせ

- この設定では誰でもフォルダにアクセスが出来る状態になります。フォルダにユーザーとパスワードを設定する場合は、「共有」タブの「詳細な共有」にある「アクセス許可」を設定してください。
- 「ワークグループ」が設定されているかを確認してください。
- NAS(Network Attached Storage)をお使いの場合は、お手持ちのNASの取扱説明書をご確認ください。



Windows 8 の設定をする

① 共有オプションの設定をする

1

「コントロールパネル」を開き「ネットワークとインターネット」の「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリックする

- メニューが表示されない場合、「表示方法」が「カテゴリ」になってるか確認してください。

2

「共有の詳細設定の変更」をクリックする

3

「プライベート(現在のプロファイル)」
「すべてのネットワーク」「パスワード保護共有」※ 欄で、以下の項目にチェックが入っているか確認する

「ネットワーク探索を有効にする」「ファイルとプリンターの共有を有効にする」「共有を有効にしてネットワークアクセスがある場合はパブリックフォルダ内のファイルを読み書きできるようにする」「パスワード保護共有を無効にする」※

- ※ お使いのパソコン・OS によっては表示されません。

4

「変更の保存」をクリックし、右上の「X」をクリックして設定画面を閉じる

② 共有フォルダの作成をする

ホームグループの場合

1

共有したいフォルダを選び、右クリックする

2

「共有」から、共有方法「ホームグループ(表示)」または「ホームグループ(表示および編集)」を選ぶ

ホームグループ以外の場合

1

共有したいフォルダを選び、右クリックする

2

「共有」から「特定のユーザー」を選ぶ

3

プルダウンメニューから「Everyone」を選び、「追加」「共有」の順にクリックする

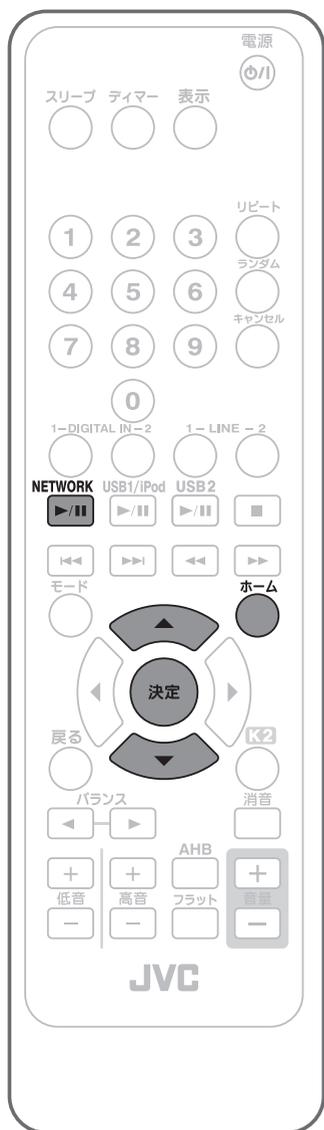
以上で設定は完了です。

お知らせ

- この設定では誰でもフォルダにアクセスが出来る状態になります。フォルダにユーザーとパスワードを設定する場合は、「共有」から共有を許可するユーザーを設定してください。
- 「ワークグループ」が設定されているかを確認してください。
- NAS(Network Attached Storage)をお使いの場合は、お手持ちのNASの取扱説明書をご確認ください。



ネットワーク機器を使う



共有フォルダ内の曲を再生する

1 音源を「NETWORK」にする

リモコン

本体

NETWORK



SOURCE



(くり返し押す)

2 ネットワークサービスメニューを表示する



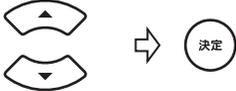
3 「Home Media」を選ぶ



(くり返し押す)



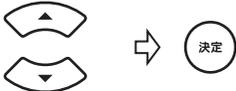
4 共有フォルダを選ぶ



(くり返し押し)

- ユーザー名とパスワードを要求された場合は、必要なアカウント情報を入力してください。(p. 38)
- 一度入力されたアカウント情報は保存され、次回からの入力が不要になります。
- アカウント情報については、共有フォルダの作成時に設定したアカウント情報を使用してください。

5 再生したい音楽ファイルを選ぶ



(くり返し押し)

再生が始まります。

- [決定]の代わりに[NETWORK▶/||]を押しても再生が始まります。

ネットワーク機器を使う



ファイル进行操作する

停止する



- 停止後に再度再生すると、再生していた曲の先頭から再開します(リジューム機能)。

一時停止する

NETWORK



- もう1度押しすと、一時停止を解除します。

曲を選ぶ

リモコン



(くり返し押し)

本体

MODE/ENTER



(回す)

- 次の曲に移動するには、[▶▶] を押します。
- 再生している曲の最初に移動するには、[◀◀] を押します。続けて2回押しすと、前の曲に移動します。

早戻し/早送りする

再生中または一時停止中に



(押し続ける)

ご注意

- メディアサーバーによっては、一時停止/早戻し/早送りの操作ができない場合があります。

ランダム再生をする

1 ランダムを設定する

停止中に



- ・「」(ランダム)アイコンが点灯します。

2 再生する

NETWORK



- ・ランダム再生中に[]を押しても、前の曲に戻ることはできません。
- ・停止中に[ランダム]をもう1度押すと、ランダム再生が解除され、「」(ランダム)アイコンが消灯します。

リピート再生をする

1 リピートの種類を選ぶ

再生中または停止中に



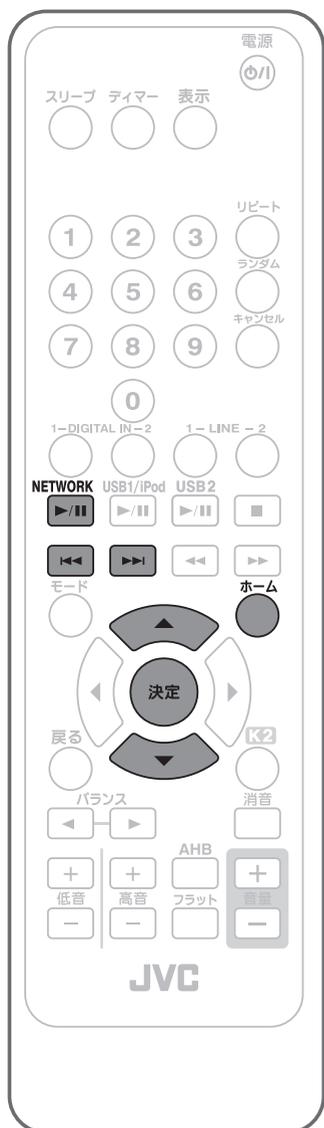
- ・押すたびに以下のように切り換わります。
- 「」(リピート)アイコン:
すべての曲をくり返します。
- 「」(リピート1)アイコン:
現在の曲をくり返します。
- 「」(フォルダリピート)アイコン:
現在のフォルダの曲をくり返します。
- アイコン消灯:
リピート再生を解除します。

2 再生する

NETWORK



ネットワーク機器を使う



radiko.jp を聞く

radiko.jp は地上波ラジオ放送を CM も含め、そのまま同時に放送エリアに準じた地域に配信するサイマルサービスです。

- 対応(聴取可能)エリア、対応放送局について詳しくは radiko.jp の Web サイト(<http://radiko.jp>)をご覧ください。

1 音源を「NETWORK」にする



2 ネットワークサービスメニューを表示する



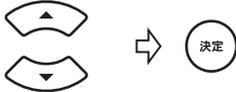
3 「radiko.jp」を選ぶ



本機が接続されているエリアに応じた放送局リストが表示されます。

- radiko.jp サービスが行われていない地域、もしくはサービス停止中の場合、エラーメッセージが表示されます。

4 放送局を選ぶ



(くり返し押し)

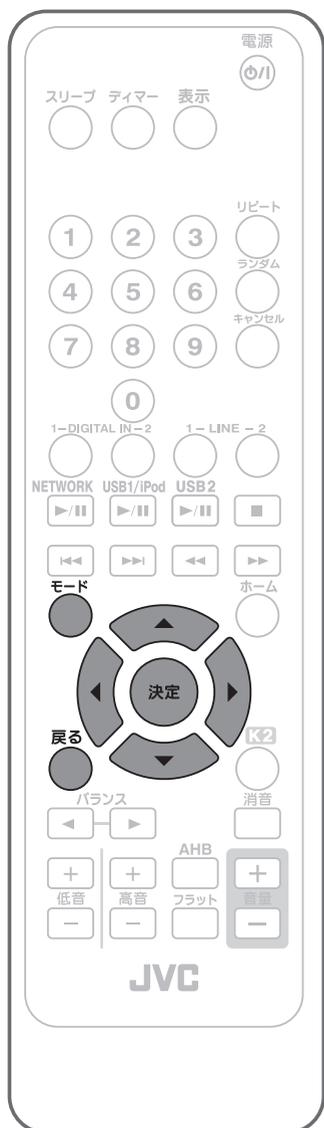
再生が始まります。

- 楽曲情報を提供している放送局を選択した場合は、楽曲のアーティスト名、楽曲名が表示されます。
- 楽曲情報が無い放送局の場合は、番組名、出演者名が表示されます。
- 再生中に、[◀◀] / [▶▶] を押し続けると、放送局が切り換わります。

お知らせ

- 音源で「NETWORK」を選ぶと、自動で「radiko.jp」が再生されます。自動再生をやめたいときは、Web Setup の「自動再生」を「No」に設定してください。
- 以下のメニューを選択するには、放送局の再生中に [モード] を押し続けます。
 - Today's Program :
当日の番組一覧が表示されます。
 - Tomorrow's Program :
明日の番組一覧が表示されます。
 - Program's detail :
再生している番組の番組詳細が表示されます。
 - Topics :
番組のトピックスが表示されます。放送された楽曲のリストやおすすめ情報など、放送をより楽しむための情報が表示されます。





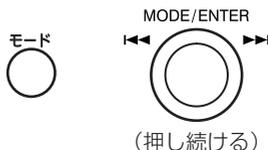
ネットワーク設定を変更する

操作方法

1 設定メニューを表示する

リモコン

本体



2 「Network Setup」を選ぶ



3 変更したい設定項目を選ぶ



4 変更したい設定オプションを選ぶ



- 前のメニューに戻るには、[戻る]を押します。
- 途中で設定を中止するには、[モード]を押してください。

5 設定の変更内容を記憶させる

[戻る]押し、「Network Save?」と表示されたら、[決定]を押します。
[Save Setting.]と表示された後、「Network Setup」と表示されたら、[戻る]を押します。

- 詳細は、次のページをご覧ください。



Network Setup の各設定について

ネットワーク設定を変更する場合は、変更後「Network Save?」と表示されたあと、[決定] を押して設定を保存してください。

- 設定を保存しない場合は[▲][▼]を押して「NetworkCancel」を選び、[決定]を押してください。

本機をネットワーク(LAN)に接続して使えるようにするために、ネットワーク設定をする必要があります。

- DHCP でネットワーク(LAN)を構築している場合は、DHCP を「Enable」に設定すると、ネットワーク(LAN)で使用できるようになります(初期設定です)。
- 各機器に固定 IP アドレスを割り当てている場合は、「IP Address」で本機に IP アドレスを割り当て、ゲートウェイアドレスやサブネットマスクなどお使いのネットワーク(LAN)に関する情報を入力してください。

IP Address

ISP から提供された IP アドレスを入力してください。ほとんどのルータは Class C を使用します。

Class A : 10.0.0.0~10.255.255.255

Class B : 172.16.0.0~172.31.255.255

Class C : 192.168.0.0~192.168.255.255

- 数字ボタンと[決定]でも入力できます。

MAC Address

本機の MAC アドレスを確認できます。この値は機器固有のもののため、変更することはできません。

DHCP

この設定で本機の IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS サーバーを自動で設定するかどうかを設定します。

Enable : 自動設定(初期設定です)

Disable : 手動設定

- 「Disable」を選んだ場合、「IP Address」、「Subnet Mask」、「Gateway」、「DNS Server」を手動で設定してください。

Subnet Mask

ネットワーク(LAN)のサブネットマスクを表示または設定します。

Gateway

ネットワーク(LAN)のゲートウェイアドレスを表示または設定します。

DNS Server

ネットワーク(LAN)の DNS サーバー(プライマリ)を表示または設定します。

Proxy URL

プロキシサーバーの URL を入力します。URL が不明な場合は、ご使用の ISP にお問い合わせください。

- URL の入力方法については、p. 38 をご覧ください。

Proxy Port

この設定は上記「Proxy URL」設定が入力されているときだけ機能します。プロキシサーバーのポート番号を入力します。ポート番号が不明な場合は、ご使用の ISP にお問い合わせください。

Net Standby

電源が切れているとき(スタンバイ状態のとき)に、ネットワークを通じて本機をコントロールできるかどうかを設定します。

Disable : コントロールできません。

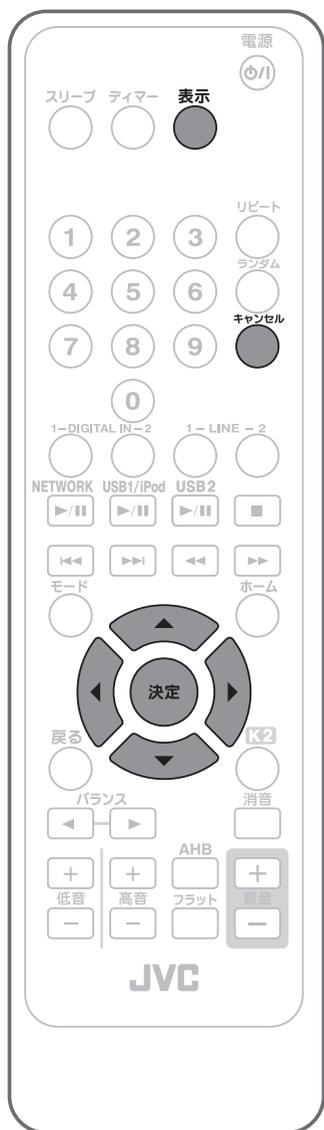
(初期設定です)

Enable : 本機をコントロールすることができません。

- 「Enable」に設定している場合、スタンバイ状態での消費電力が増加します。STANDBY インジケータがオレンジ色に点灯します。

お知らせ

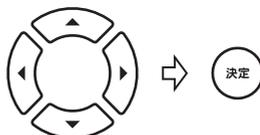
- 同じネットワークに接続されたパソコンなどのインターネットブラウザの URL 欄に本機の IP アドレスを入力すると、Web Setup 画面が表示され、画面上でネットワークの設定を変更することができます。



文字を入力する

本機の表示部にパスワードや Web サイトの URL などを入力する場合は、以下の手順で入力してください。

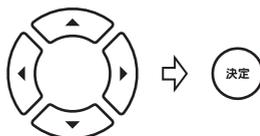
1 文字・記号を選ぶ



(くり返し押す)

この操作をくり返して文字を入力します。

2 入力が終わったら、本機の表示部で「OK」を選ぶ



(くり返し押す)

この操作を行わないと保存されません。

本機の表示部に入力できる文字

本機の表示部に入力できる文字は、以下のとおりです。

| | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|----|----|---|---|---|---|---|---|
| a | b | c | d | e | f | g | h | i | j | k | l | m |
| n | o | p | q | r | s | t | u | v | w | x | y | z |
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 0 | - | = | ` |
| { | } | ! | : | " | < | > | ? | S | p | a | c | e |
| S | h | i | f | t | <- | -> | B | S | O | K | | |

| | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|----|---|----|----|---|---|---|---|---|---|---|
| A | B | C | D | E | F | G | H | I | J | K | L | M | |
| N | O | P | Q | R | S | T | U | V | W | X | Y | Z | |
| ! | @ | # | \$ | % | ^ | & | * | (|) | _ | + | ~ | |
| [|] | \ | / | ; | ' | , | . | / | S | p | a | c | e |
| S | h | i | f | t | <- | -> | B | S | O | K | | | |

Space:

1 文字分空白のスペースを入力します。

Shift※1:

表示する文字が切り換わります。

← →:

名前入力エリア内でカーソルを移動するときに選びます。

BS(Back Space)※2:

カーソル位置から、左側の文字を削除します。
カーソル位置は左に動きます。

OK:

入力が完了したときに押します。

※1 [表示]を押すことでも切り換わります。

※2 [キャンセル]を押すと、入力したすべての文字を削除できます。

Wi-Fi Remote Control アプリを使う

- Android 端末や iPhone などのアップル社製端末では、専用アプリ「JVC Audio Control WR2」を使って、同じネットワークに接続されたサーバー内の音楽を再生・操作することができます。

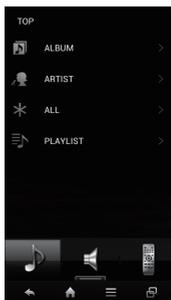
お知らせ

- アプリのダウンロードは、Android 端末では Google Play(Play ストア)から検索して、ダウンロードしてください。アップル社製端末では App Store から検索して、ダウンロードしてください。
- アプリは下記 OS バージョンの端末でお使いください。
 - iOS 端末は 5.1~9.0 まで
 - Android 端末は 2.3~5.0 まで
- アプリを使うためには、パソコンや NAS (Network Attached Storage)、無線 LAN ルーターが必要です。
- アプリの画面や内容は変更になる場合があります。
- すべての端末での動作を保証するものではありません。

アプリでは次の操作が行えます。

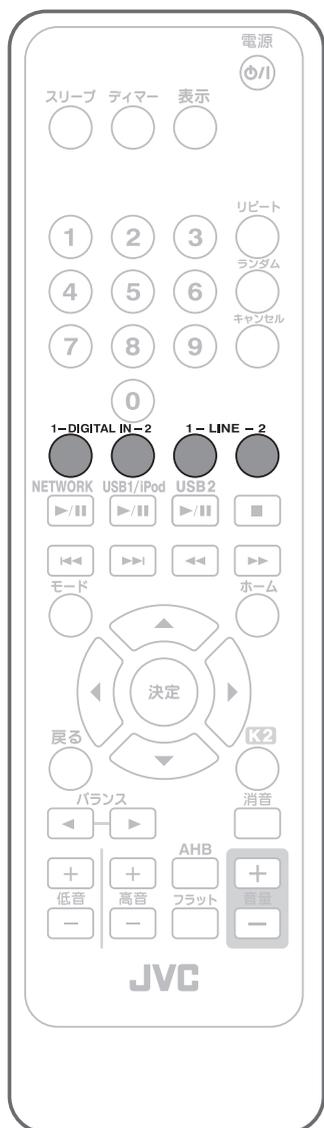
- 電源の入切
- 音源の選択
- ネットワーク内の音楽ファイルの再生
- 音量の調整

※アプリの操作画面例です

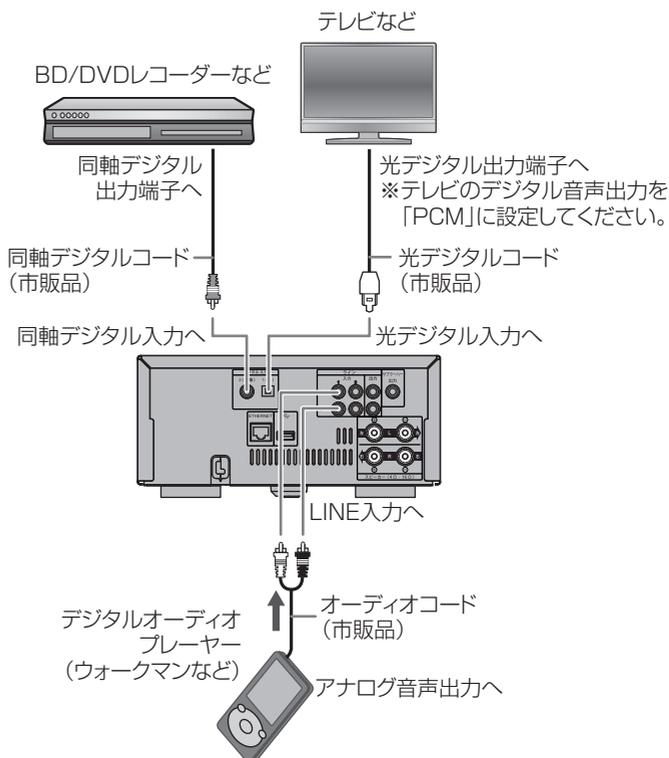


ネットワーク機器を使う

外部機器を聞く



外部機器を接続する

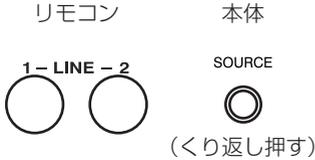


- お使いの外部機器の取扱説明書もご覧ください。

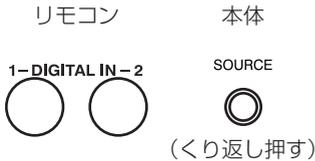
再生する

1 外部機器を接続した入力を選ぶ

LINE 入力端子に接続した機器を再生する場合



デジタル入力端子に接続した機器を再生する場合



- 「DIGITAL IN」を使用するときは、外部機器のデジタル音声の出力設定を「PCM」にしてください。
「PCM」以外に設定されていると、音声は出力されません。

2 外部機器の再生を始める

お知らせ

- 本機で再生できるデジタル信号は、PCM (32 kHz ~ 192 kHz) です。
音量の調整方法については p. 13 をご覧ください。



外部機器を聞く

音質を設定する



再生音質を高める(K2機能)

K2機能は、録音時に失われた信号成分を補完し、より自然な音声再生を可能にします。

ご注意

音源が「USB1/iPod」、「USB2」、「NETWORK」、「DIGITAL IN1」、「DIGITAL IN2」のときに設定できます。



- 押すたびにオンとオフが切り換わります。
- K2機能がオンのときに K2 インジケーターが点灯します。

お知らせ

- デジタル音声にハイビット化(24bit)およびハイサンプリング化(128 kHz、176.4 kHz または 192 kHz)の処理を行い、信号成分を補完します。
- 音源が LINE 入力(「LINE1」、「LINE2」)のときは、「Analog Source」と表示され、調節できません。

お好みの音質に設定する



(くり返し押す)

- それぞれ以下の範囲で調節できます。
 - 低音: Bass -8 から Bass +8
 - 高音: Treble -8 から Treble +8
- 値が 2 ずつ変化します。

お知らせ

- ヘッドホンからの音声にも効果があります。

重低音を強める(AHB)



- 押すたびにオンとオフが切り換わります。

お知らせ

- ヘッドホンからの音声には効果がありません。

音質設定をリセットする



- 低音と高音の設定が 0 に、AHB の設定がオフになります。

スピーカーの左右の音量バランスを調整する



(くり返し押す)



- バランスは左右 7 段階の調整が可能です。



タイマーを使う



スリープタイマーを設定する

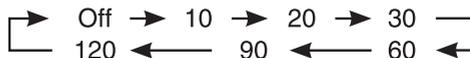
設定した時間が経過すると、本機の電源が自動的に切れます。

スリープ



(くり返し押し)

- 押すたびに電源が切れるまでの時間(単位:分)が次のように切り換わります。



- スリープタイマーがオンのとき、「SLEEP」アイコンが点灯します。
- 残り時間を確認するには、[スリープ]を1回押してください。
- スリープタイマーを解除するには、電源をオフにするか、「Off」を選んでください。

その他の設定



表示される情報を変える

表示



(くり返し押し)

- 押すたびに時間表示や情報に切り換わります。

お知らせ

- ソース(音源)によって、表示される情報は異なります。
- オーディオファイルの再生中は、表示部にタグ情報が表示されます。
- 表示される文字は半角英数のみです。
- 曲名、アーティスト名、アルバム名、経過時間などを切り換えることができます。

表示例:USB 機器再生時



表示例:ネットワーク機器再生時



表示の明るさを変える

お好みやお部屋の状態によって調節してください。

タイマー

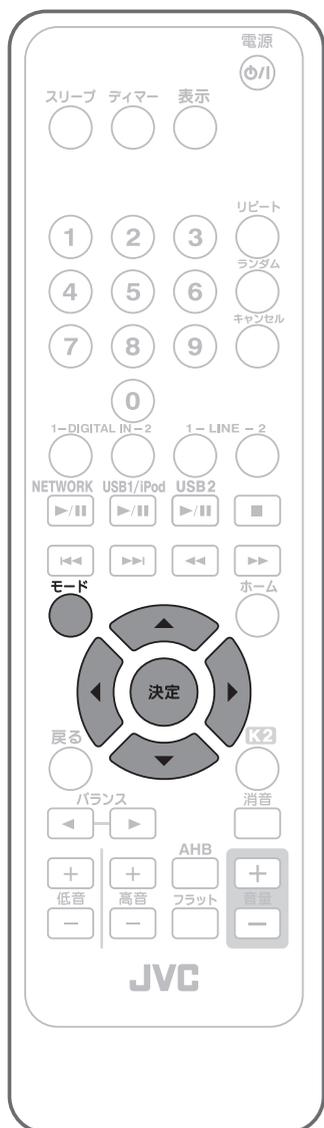


(くり返し押し)

- 押すたびに表示部の明るさが以下のように切り換わります。
通常の明るさ → 輝度が下がる → 輝度がさらに下がる → (最初に戻る)
- 電源を切っても設定は消えません。



その他の設定



オートパワーセーブ(節電機能)をオフに設定する

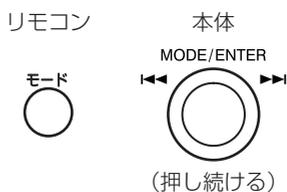
オートパワーセーブとは、無操作が約 15 分間続くと、自動で電源がオフになる機能です。

お買い上げ時にはオートパワーセーブはオンになっています。オフにするときは以下の手順で「Off」を選んでください。

ご注意

- 外部機器で録音するときは、オートパワーセーブをオフにする、または本機の音量を 1 以上にして録音してください。

1 設定メニューを表示する



2 「A.P.S. Set」を選ぶ



3 「Off」を選ぶ

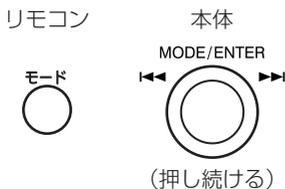


オートパワーセーブ(節電機能)をオンに設定する

無操作が約 15 分間続くと、自動で電源がオフになる機能です。

オートパワーセーブをオンにするときは、以下の手順で「On」を選んでください。

1 設定メニューを表示する



2 「A.P.S. Set」を選ぶ



3 「On」を選ぶ



以下のいずれかの状態のとき、本機の電源は自動的に切れません。

- 音源が「USB1/iPod」、「USB2」または「NETWORK」で、再生しているとき
- 音源が「DIGITAL IN1」、「DIGITAL IN2」、「LINE1」または「LINE2」で、音声が入力されているとき

以下のいずれかの状態のとき、本機の電源は自動的に切れます。

- 音量が 0 のとき、または消音しているとき
- 音源が「USB1/iPod」、「USB2」または「NETWORK」で、再生を一時停止しているとき

お知らせ

- 本機の電源が切れる約 30 秒前に「A.P.S.」表示が点滅を始めます。
- 途中でボタン操作を行なった場合は、その時点から 15 分間カウントし直します。
- スリープタイマーの動作中もオートパワーセーブは働きます。



その他

再生できる iPod

| Made for | ※ |
|------------------|-------|
| iPod nano(第7世代) | 1.0.1 |
| iPod nano(第6世代) | 1.2 |
| iPod nano(第5世代) | 1.0.2 |
| iPod nano(第4世代) | 1.0.4 |
| iPod nano(第3世代) | 1.1.3 |
| iPod nano(第2世代) | 1.1.3 |
| iPod touch(第5世代) | 7.0.4 |
| iPod touch(第4世代) | 6.1.3 |
| iPod touch(第3世代) | 5.1.1 |
| iPod touch(第2世代) | 4.2.1 |
| iPod touch | 3.1.3 |
| iPod classic | 2.0.4 |
| iPhone 5s | 7.0.4 |
| iPhone 5c | 7.0.4 |
| iPhone 5 | 7.0.4 |
| iPhone 4s | 7.0.4 |
| iPhone 4 | 7.0.4 |
| iPhone 3GS | 6.1.3 |
| iPhone 3G | 4.2.1 |

※ 動作確認時のソフトウェアのバージョン

- iPod が正しく再生されないときは、iPod の最新版ソフトウェアをダウンロードし、アップデートしてください。
iPod について詳しくは、Apple 社のウェブサイトをご覧ください。<<http://www.apple.com/>>

USB 機器のご注意

- 再生できる USB 機器のファイルは、MP3/WMA/AAC/WAV/FLAC/Apple Lossless/DSD の各ファイルです。
- USB 端子には、USB フラッシュメモリーや USB マスストレージクラス対応のデジタルオーディオプレーヤー以外の機器を接続しないでください。
- USB 機器の容量は 16GB 以下を推奨します。
- 収録されているファイルが多いほど、本機の読み込み時間が長くなります。
- USB 機器のセキュリティ機能は、接続する前に解除してください。
- 本機の USB 端子は、パソコンとは接続できません。
- 接続する機器によっては誤動作する場合があります。このときは、本機の電源を一度切ってから入れ直してください。
- USB ハブは使用しないでください。
- すべての USB 機器の動作を保証するものではありません。
- USB 機器が複数のパーティションに分かれている場合は、先頭のパーティションのみ認識します。
- USB 機器によっては、認識されるまでに時間がかかることがあります。
- USB 機器によっては、本機が認識できないことがあります。
- USB 機器に再生可能なファイルがない場合は、再生は開始されません。
- 本機から USB 機器へ録音することはできません。
- 本機では、ファイルやフォルダを削除することはできません。
- 接続するときは、USB 機器の取扱説明書もご覧ください。

オーディオファイルのご注意

- 再生できるオーディオファイルは<.mp3>/<.MP3>、<.wma>/<.WMA>、<.aac>/<.AAC>、<.m4a>/<.M4A>、<.wav>/<.WAV>、<.flac>/<.FLAC>、<.dsf>/<.DSF>の拡張子がついているファイルです。
- 本機では、以下のような転送レートとサンプリング周波数で作成されたオーディオファイルを再生できます。

サンプリング周波数

| オーディオファイル | サンプリング周波数 |
|----------------|---|
| MP3 | 8 kHz、11.025 kHz、12 kHz、16 kHz、22.05 kHz、24 kHz、32 kHz、44.1 kHz、48 kHz |
| WMA | 8 kHz、11.025 kHz、16 kHz、22.05 kHz、32 kHz、44.1 kHz、48 kHz |
| AAC | 8 kHz、11.025 kHz、12 kHz、16 kHz、22.05 kHz、24 kHz、32 kHz、44.1 kHz、48 kHz、88.2 kHz、96 kHz |
| Apple lossless | 8 kHz、11.025 kHz、12 kHz、16 kHz、22.05 kHz、24 kHz、32 kHz、44.1 kHz、48 kHz、88.2 kHz、96 kHz |
| WAV | 8 kHz、11.025 kHz、12 kHz、16 kHz、22.05 kHz、24 kHz、32 kHz、44.1 kHz、48 kHz、64 kHz、88.2 kHz、96 kHz、176.4 kHz※、192 kHz※ |
| FLAC | 8 kHz、11.025 kHz、12 kHz、16 kHz、22.05 kHz、24 kHz、32 kHz、44.1 kHz、48 kHz、64 kHz、88.2 kHz、96 kHz、176.4 kHz、192 kHz |
| DSD | 2.8224 MHz |
| LPCM | 8 kHz、11.025 kHz、12 kHz、16 kHz、22.05 kHz、24 kHz、32 kHz、44.1 kHz、48 kHz、64 kHz、88.2 kHz、96 kHz |

※ 176.4 kHz、192 kHz は本機背面への USB 端子接続には対応していません。

転送レート

| オーディオファイル | 転送レート |
|-----------|-------------------|
| MP3 | 8 kbps - 320 kbps |
| WMA | 5 kbps - 320 kbps |
| AAC | 8 kbps - 320 kbps |

量子化ビット数

| オーディオファイル | 量子化ビット数 |
|----------------|---------------|
| Apple lossless | 16 bit、24 bit |
| WAV | 16 bit、24 bit |
| FLAC | 16 bit、24 bit |
| LPCM | 16 bit、24 bit |

- 本機で認識できるファイル数は、1 フォルダあたり最大 20,000 ファイルです。
 - フォルダ階層数は最大 16 階層まで認識できます。
- DRM(著作権保護)ファイルは再生できません。
- 1 曲が 2GB 以上のファイルは再生できません。
- 録音状態や記録方法によっては再生できないオーディオファイルもあります。その場合、再生できないファイルはスキップされます。
- オーディオファイルの再生順について(オーディオファイルを含まないフォルダは無視されます。)
 - 先に作成したフォルダから順に再生します。フォルダ内では先に記録した曲から順に再生します。
 - 記録のしかたによっては、順番が異なることがあります。
 - フォルダ名やファイル名を変えると、順番が変わることがあります。
- フォルダ名、ファイル名の頭に「01」から「99」などの番号を付けてメディアに記録すると、再生する順番を設定することができます。
- 本機は ID3 TAG VERSION1,2(曲名、アーティスト名、アルバム名)、ファイル名、フォルダ名を表示できます。
- 表示できる最大文字数は以下のとおりです。ファイル名/フォルダ名およびタグ表示(タイトル/アルバム名/アーティスト名): 128 文字

ネットワーク(LAN)について

複数の機器をケーブルなどで接続し、お互いに通信できるようにしたものをネットワークといいます。

家庭ではパソコンなどをインターネットに接続したり、複数のパソコンで相互にデータをやりとりしたりするために、ネットワークを作る(一般的に構築するといわれます)ケースが多いようです。

このように家庭内など比較的狭い範囲に構築されるネットワークは LAN(Local Area Network)と呼ばれます。

本機はパソコンなどのネットワークサーバーと接続することで、ネットワークサーバー内(パソコン内)の音楽ファイルを再生したり、インターネットと接続することで radiko.jp を聞いたりすることができます。

その際本機とパソコンやインターネットを直接接続するのではなく、パソコンやインターネットと接続するためのいくつかの機器(ネットワーク機器)が必要になります。

LANの構築に必要な機器は以下のとおりです

- ルーター
- イーサネットケーブル(CAT-5)、(CAT-5e)、(CAT-6)(カテゴリー 5/5e/6)
- ネットワークサーバー(パソコンなど/ネットワークサーバー使用時)
- 光や ADSL などのインターネット回線(radiko.jp 使用時)

サーバーについて

ネットワークサーバー内の音楽ファイルを再生する(p. 24)

本機は以下のネットワークサーバーに対応しています。

- Windows Media Player 11
- Windows Media Player 12
- Windows Media Connect 2.0
- DLNA 準拠サーバー

リモート再生する(p. 26)

本機は以下の機器に対応しています。

- Windows Media Player 12
- DLNA 1.5 準拠のネットワークサーバー、コントローラー機器
- 設定方法は使用するネットワークサーバーやコントローラー機器によって異なります。お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

DLNA 機器について

DLNA とは、Digital Living Network Alliance(デジタルリビングネットワークアライアンス)の略称で、ネットワーク(LAN)によってパソコンやゲーム機、デジタル家電を相互に接続し、音楽や画像、動画などのデータをやりとりするための標準化を進めている団体の名称です。本機は、DLNA ガイドライン V1.5 に準拠しています。

商標

- Microsoft、Windows Media は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- “Made for iPod” and “Made for iPhone” mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod or iPhone, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPod or iPhone may affect wireless performance.
- iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano and iPod touch are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.
- DLNA®、DLNA ロゴおよび DLNA CERTIFIED™は、Digital Living Network Alliance の商標、サービスマーク、または認証マークです。
- Android は Google Inc.の登録商標です。
- DSD はソニー株式会社の登録商標です。
- "ウォークマン"は、ソニー株式会社の登録商標です。

故障かな？と思ったら

問題の多くは、当社ホームページ

<http://www3.jvckenwood.com/>

や右記の QR コードから最新の製品 Q&A 情報をご覧ください。

カスタマーサポートセンターにご相談になる前に下記をチェックしてください。

- PC サイトです。
- サイトの内容は予告なく変更になることがあります。



(QR コードは
(株)デンソーウェーブ
の登録商標です)

共通

| 症状 | 処置 |
|--|--|
| 電源が入らない | <ul style="list-style-type: none">• 電源コードのプラグがコンセントに正しく接続されているか確認してください。• 電源コードをコンセントから抜いて、1分程度経ってから差し込みなおしてください。• スピーカーコードがショート(芯線の+と-が接触)していないか、ばらけて細い線が本体の金属部分などに接触していないか確認し、正しく接続してください。 |
| マイコンが誤動作(操作できない、表示部の誤表示など)する | <ul style="list-style-type: none">• 電源が入ったまま接続コードを抜き差ししたときや、外部からの要因によって、誤動作することがあります。 以下の手順でマイコンをリセットしてください。 リセットすると、設定内容などは、お買い上げ時の状態となります。 マイコンリセット方法 <ol style="list-style-type: none">① 電源が入った状態で、本体の[■]を押しながら、本体の[⏻/⏷](電源ボタン)を押し② リセットが終了し、スタンバイモードになる |
| スピーカーから音が出ない | <ul style="list-style-type: none">• スピーカーや機器を正しく接続してください。• 音量を上げてください。• 消音を解除してください。• ヘッドホンをはずしてください。 |
| スピーカーの片側から音が出ない | <ul style="list-style-type: none">• スピーカーを正しく接続してください。• 左右の音量バランスを確認してください。 |
| デジタル入力端子(DIGITAL IN1、DIGITAL IN2)から音が出ない | <ul style="list-style-type: none">• 機器を正しく接続してください。• 接続機器のデジタル音声出力設定を「PCM」に設定しているか、確認してください。 |
| リモコンで操作できない | <ul style="list-style-type: none">• 新しい電池に入れ換えてください。• 操作範囲内で操作してください。 |
| [?]マークが表示される | <ul style="list-style-type: none">• エラーや、コンテンツ情報が無い場合に「?」マークが表示されます。音源が「USB1/iPod」、「USB2」または「NETWORK」のときはコンテンツ情報のある階層に移動してください。(「?」マークの後にメッセージが表示される場合があります。) |
| 不自然な音になっている。 | <ul style="list-style-type: none">• スピーカーの極性(+、-)を間違えて配線すると、楽器などの位置がはっきりしない不自然な音になります。配線を確認してください。(p. 8) |

iPod

| 症状 | 処置 |
|---|---|
| iPod の音が出ない/充電できない | <ul style="list-style-type: none"> • iPod は本機前面の USB 端子に接続してください。本機背面の USB 端子は iPod の操作・再生に対応していません。 • iPod を正しく接続してください。 iPod とケーブルを本機から取りはずし、もう一度接続し直してください。 • 一度本機の電源を入れなおしてください。 |
| チャージモードをオンに設定しても、本機の電源が切れているとき(スタンバイ状態のとき)に iPod/iPhone を充電できない | <ul style="list-style-type: none"> • iPod nano(第2世代)、iPod touch(第1世代/第2世代/第3世代/第4世代)、iPhone 4、iPhone 3GS、iPhone 3G は本機の電源が切れているとき(スタンバイ状態のとき)に接続しても充電できません。本機の電源が入っているときに充電してください。 |
| iPod を再生できない/認識できない | <ul style="list-style-type: none"> • iPod をはずした状態で、iPod をリセットし、本機の電源コードを抜き差ししてください。(iPod のリセット方法については、アップル社のウェブサイトをご覧ください) |

USB 機器

| 症状 | 処置 |
|--|---|
| USB フラッシュメモリーまたは USB オーディオプレーヤーを接続しても音が出ない | <ul style="list-style-type: none"> • USB フラッシュメモリーを正しく差し込んでください。 • USB ケーブルを正しく接続してください。 • USB オーディオプレーヤーの電源を入れてください。 • パソコンで、USB フラッシュメモリーを FAT32 形式でフォーマットしてください。(フォーマットすると、USB フラッシュメモリーに記録されているデータはすべて消去されますので、ご注意ください) • 他の USB フラッシュメモリーに交換してみてください。 |
| ソニー製ウォークマンを再生できない/認識できない | <ul style="list-style-type: none"> • ソニー製ウォークマンは、USB 接続できません。ライン入力端子に接続してください。(p. 40) |

故障かな？と思ったら

ネットワーク

| 症状 | 処置 |
|-----------------------------------|---|
| ネットワークサーバーが使用できない | <ul style="list-style-type: none">• ネットワークサーバーが起動しているか確認してください。• ネットワークサーバーがネットワークに正しく接続されているか確認してください。• ルーターの LAN 側ポートと本機が正しく接続されているか確認してください。• ルーターなどのネットワーク機器の電源を一度切ってから、再度ネットワークに接続してください。 |
| ネットワークサーバーで音楽ファイルを再生しているときに音が途切れる | <ul style="list-style-type: none">• パソコンをネットワークサーバーにしている場合、サーバーソフトウェア (Windows Media Player 11 など) 以外のアプリケーションソフトを終了させてみてください。• パソコンで大きな容量のファイルをダウンロードしたりコピーしている場合は、再生音が途切れる場合があります。 |
| radiko.jp が聞けない | <ul style="list-style-type: none">• 他の機器からインターネットに接続できるか確認してください。できない場合、ネットワークに接続されているすべての機器の電源を切り、しばらくしてから入れてみてください。 |

主な仕様

本体(CA-EXN70/CA-EXN50)

アンプ部

| | | |
|--------------|--------------------------|-------------------|
| 実用最大出力 | 50 W + 50 W (JEITA* 4 Ω) | |
| スピーカーインピーダンス | 4 Ω - 16 Ω | |
| 音声出力 | アナログ出力(ライン) | 500 mV / 47 kΩ |
| | サブウーハー | 2 V / 10 kΩ |
| 音声入力 | アナログ入力(ライン)2 系統 | 500 mV / 47 kΩ |
| | デジタル入力(光) | -24 dBm ~ -15 dBm |
| | デジタル入力(同軸) | 0.5 Vp-p / 75 Ω |

USB 部

| | | |
|------------|-----------------------------|---|
| 対応 USB 機器 | USB マスストレージクラスデバイス | |
| インターフェイス | USB2.0(Full speed)USB1.1 互換 | |
| 対応ファイルシステム | FAT 16 / FAT 32 | |
| 出力 | USB1(前面) | DC 5 V  1 A |
| | USB2(背面) | DC 5 V  500 mA |

主な仕様

ネットワーク部

| |
|------------------|
| DLNA version 1.5 |
| イーサネット端子 |

電源部・その他

| | |
|----------------------|--|
| 電源 | AC 100 V、50 Hz / 60 Hz |
| 消費電力 | 50 W (定格消費電力) 0.5 W 以下 (スタンバイ状態) |
| 最大外形寸法 (幅 × 高さ × 奥行) | 255 mm × 115 mm × 289 mm |
| 質量 | 3.1 kg (CA-EXN70) 2.9 kg (CA-EXN50) |

スピーカー

SP-EXN70

| | |
|---------------------|--------------------------|
| スピーカータイプ | 2 ウェイバスレフ型 |
| スピーカーユニット | ツイーター:2 cm、ウーハー:11 cm |
| 最大入力 | 100 W |
| 定格入力 | 25 W |
| インピーダンス | 4 Ω |
| 最大外形寸法(幅 × 高さ × 奥行) | 149 mm × 262 mm × 249 mm |
| 質量(1本あたり) | 4.2 kg |

SP-EXN50

| | |
|---------------------|--------------------------|
| スピーカータイプ | 1 ウェイバスレフ型 |
| スピーカーユニット | フルレンジ:8.5 cm |
| 最大入力 | 50 W |
| 定格入力 | 12.5 W |
| インピーダンス | 4 Ω |
| 最大外形寸法(幅 × 高さ × 奥行) | 120 mm × 161 mm × 246 mm |
| 質量(1本あたり) | 1.8 kg |

本機は「JIS C61000-3-2 適合品」です。

*は JEITA(電子情報技術産業協会)の測定法に基づく数値です。

本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

<メモ>

保証とアフターサービス

保証書

所定事項記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。保証期間はご購入の日より1年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

製造打ち切り後8年です。補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。お客様にご記入いただいた保証書は、保証期間中、およびその後の点検・サービス活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。本書は、本書記載内容で、無料修理を行うことをお約束するものです。

- 保証期間中、取扱説明書および本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で故障した場合は、無償修理または本体部の交換をさせていただきます。その際、当社の判断で再生部品を用いる場合があります。商品と本書をお買い上げの販売店にご持参ご提示のうえ、修理をご依頼ください。
- 保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店、または JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
- 次のような場合は保証期間内でも有料修理にさせていただきます。
 - 本書のご提示がない場合。
 - 本書に型名、製造番号、お買い上げ年月日、お客様名、お買い上げ販売店名の記載がない場合。
 - ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。
 - お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障および損傷。
 - 火災、地震、風水害、雷その他の天災地変、虫害、塩害、公害、ガス害(硫化ガスなど)や異常電圧、指定以外の使用電源(電圧・周波数)による故障および損傷。
 - 不具合の原因が本製品以外(外部要因)による場合。
 - 一般家庭用以外(例えば業務用などへの長時間使用および車輛、船舶への搭載)に使用された場合の故障および損傷。
 - 消耗品(電池など)の消耗。
 - (持込修理対象商品の場合)
持込修理の対象商品を直接メーカーへ送付した場合の送料はお客様負担とさせていただきます。また、出張修理を行なった場合には、出張料はお客様負担とさせていただきます。
 - (出張修理対象商品の場合)
離島および離島に準ずる遠隔地へのお出張修理を行なった場合は、出張に要する実費を申し受けます。
 - 不注意、許可なしに行なった修正/改造、あるいは事前承諾を得ずに付加した部品またはインストールしたソフトウェア、ファームウェアが原因となって損傷が発生した場合。
- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって株式会社 JVC ケンウッドおよびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。

This warranty is valid only in Japan.

- 修理などのアフターサービスについて、下記ホームページをご覧ください。
<http://www3.jvckenwood.com/support/hrepair.html>
- 商品や修理(アフターサービスなど)に関するお問い合わせは、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。

フリーダイヤル 0120-2727-87

(携帯電話、PHS、IP 電話からは 045-450-8950、FAX 045-450-2308)

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00/土曜 9:30～12:00、13:00～17:30

(日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます)



保証書

持込修理

| | | | |
|------------------|-------|----------|--------|
| 品名 オーディオ商品 | | 製造番号 | |
| 型名 EX-N70/EX-N50 | | | |
| お客様 | お名前 | ふりがな | 様 |
| | ご住所 | | |
| お買い上げ年月日 | 年 月 日 | 保証期間 | 本体 1年間 |
| お買い上げ店 | | 住所・店名・電話 | |

お客様へのお願い

1. 本書にお買い上げ年月日、お客様名、お買い上げ販売店名が記載されているか確かめください。万一記入がない場合は、直ちにお買い上げ販売店にお申し出ください。購入日の確認できる書類（シールやレシートなど）の添付でもかまいませんので、大切に保管してください。
2. 製造番号の記載がない場合は、お手数ですが、お買い上げ商品の製品番号をお確かめのうえ、記入をお願い致します。
3. ご贈答品などで、本書記載のお買い上げ販売店に修理がご依頼になれない場合は、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
4. ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
5. 本書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。

ホームページ <http://www3.jvckenwood.com/>

株式会社 JVCケンウッド

〒221-0022 横浜市神奈川区守屋町3-12